

《新聞の投書を書く 文例》

なぜ交通ルールがあるのか

皆さんに交通ルールについて伝えたいことがあります。

先月、私は自転車で友達の家へ向かう途中、脇道から飛び出してきた自転車とぶつかりそうになりました。また、先日、横断禁止場所を横断した歩行者が車にはねられて大けがをするという痛ましいニュースも耳にしました。

どちらにも共通しているのが、交通ルールを守らなかった、ということです。交通ルールを守らないと、周囲の人を傷つけたり、ときには自分自身が傷ついたりすることもあります。あたりまえですが、誰もそのようなことは望みません。

交通事故の発生状況じじょうをインターネットで調べてみると、安全不確認、脇見運転、信号無視などの法令違反が、交通事故原因の上位にあがっています（〇〇のウェブサイト <https://〇/〇〇.html> 〇年〇月〇日閲覧えつらん）。交通事故を起こそうと思って違反をしている人はいないと思うので、「だいじょうぶだろう。」「ついうっかり。」などという、交通ルールに対する意識の低さが原因だと考えられます。

交通ルールというのは、人を縛るためのものではなく、人々を守るためにあります。だから、みんなで交通ルールを守って、自分も他人も傷つけない社会にしていけるとよいと思います。